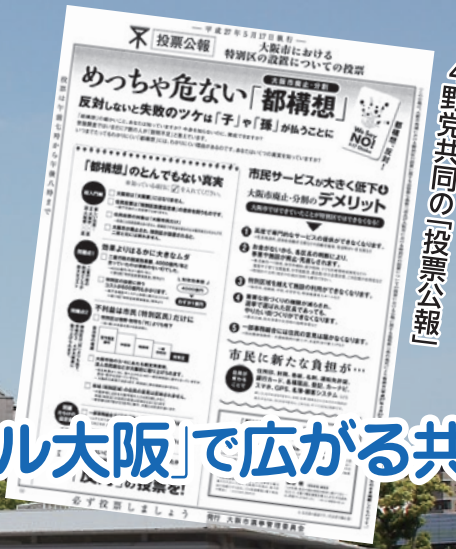


大阪市廃止・解体 「大阪都」に「反対」

「オール大阪」で広がる共同



4野党共同の「投票公報」



5月10日に扇町公園で開かれた、「大阪市をなくすな！ 5・10市民大集合&パレード」に党派を超えて、多くの人たちが集まりました。

10日、扇町公園で開かれた「大阪市をなくすな！ 市民大集合」には、大阪市地域振興会、大阪市商店会総連盟、府民のちから2015、大阪市がなくなるで！ えらいこっちゃの会、「民意の声」、自民党、民主党、公明党、共産党の各議員・元議員をはじめ、各界の代表がせいぞろい。「大阪市の廃止・分割には反対」の一点で結集。共同でパレードもおこないました。

各地域では
野党共同の
とりくみが
広がります



▲9日、超党派の女性が開いた集会（自民、公明、民主、共産の現・前市議）



▲10日、梅田となんばで、自民党と共産党の合同街頭演説に民主党も加わりました。自民党の竹本直一府連会長、柳本卓治参議院議員、民主党の辻本清美衆議院議員、尾立源幸参議院議員、日本共産党の山下芳生書記局長、清水ただし衆議員議員が訴えました。

「オール大阪」庶民の力で住民投票に「反対を」と訴えました。大阪の政治史上初のとりのくみです。

大阪市地域振興会、大阪市商店会総連盟に続いて、
各団体から「反対」の声があがっています

商工連盟

大阪の経済界から声があがりました。日本商工連盟大阪地区は「大阪経済の長期低迷は中小企業を元気にする政策の欠如であり、市を分割した特別区では能力的に更に不可能になる」アピールを決議しました。

府トラック協会、大阪タクシー協会、大阪バス協会も反対表明しています。

128人の学者のみなさん

「(大阪都は)防災・減災は全く考慮されない」(河田恵昭・京都大学名誉教授)、「大阪の都市格ははるかに低いものに」(宮本憲一・元滋賀大学学長)、「『大阪市』という一つの有機体の『死』を意味する」(藤井聡・京大教授)——5日、各分野の学者128氏が「大阪都構想」の危険性を明らかにする記者会見を開きました。

医師会・歯科医師会・薬剤師会

9日、府医師会、歯科医師会、薬剤師会はそろって「都」構想到「反対」を表明。府医師会は独自ポスターを作成し、輪が広がっています。



住之江区医師会の「都」構想反対ポスター

著名人・文化人からも続々

高畑 勲さん(アニメーション映画監督)、
小林 節さん(慶応義塾大学名誉教授・弁護士)、
宮城 泰年さん(本山修験宗管長)ら

各界のみなさんから、「大阪市の廃止・解体に反対する」との意見表明、賛同とメッセージが続々と届いています。

作詞・作曲・編曲家の小林亜星さん、方言指導の大原穰子さん、雑誌「上方芸能」発行人の木津川計さん、元日本弁護士連合会会長の宇都宮健児さん、ジャーナリストの斎藤貴男さんらも。

メッセージをいただいたみなさんのお名前はすべて「大阪市をよくする会」のホームページに



5月17日
住民投票

くつきりしました

住民投票をめぐる3つの焦点

いよいよ5月17日が住民投票の日。「大阪市をなくしたらアカン」という方はもちろん、「まだ迷っている」という方も、くつきり浮かび上がった3つの焦点をぜひご覧いただきたいのです。

1

大阪市

なくすのか、
活かすのか

橋下市長は今度の「住民投票」で「大阪市を廃止する」という中心問題を語りません。「ミニシティはなくならない」といいます。しかし、「大都市における特別区設置法」には「関係市町村を廃止し」とはつきり書いています。大阪市を「廃止」しないというなら、法違反ではありませんか。ごまかしはききません。政令市・大阪市を守り、その財源、権限を市民のために生かすことを求められます。

2

くらし

つぶすのか、
ささえるのか

「特別区」になれば、直接はいる税収がいまの4分の1になるのに、どうやって庶民の暮らしをささえるのでしょうか。国保も、介護保険も、子どもの医療費助成も危ない——私たちの批判です。橋下市長は、これをごまかすために「投票公報」に「敬老パスは市営交通以外にも拡大」などと書いています。4年前のダブル選挙でも「敬老パスは維持します。私鉄にも」と宣伝して、「有料化」しました。もうだまされるわけにはいきません。

3

新たな財源？

いいえ、
ばく大な
コスト増

橋下市長は、「二重行政解消」で生まれるのは「2700億円」「4000億円」と宣伝します。ところが、その根拠は「二重行政」に関係ない「地下鉄売却」「市有地売却」などで超水増ししたものです。いまムダな「二重行政」はなく、橋下市長が言う「4000億円」は市の資料では「1億円」です。逆に「特別区」を設置したら「680億円」のコスト増になることは、橋下市長も否定できません。



若者でにぎわう
ヨドバシカメラ前で宣伝

民青大阪府委員会など青年たちは10日、梅田のヨドバシカメラ前で、若者向けの独自ビラを配布、シール投票も行って対話にとりくみました。

政治の手法も大問題です

橋下市長は、大阪市の権限、財源を吸い上げて「一人の指揮官」にし、チェックをかける市議会もつぶして、やりたい放題の体制をつくらうとしています。

「上から目線」の「大阪市つぶし」を許すのか、それとも政治的立場をこえて、「大阪市をつぶすな」「くらしをこわさず充実を」との願いで一致した市民が、共同で新しい大阪をきずくのか。

庶民の大阪、どちらがふさわしいやり方でしょうか。

「まだ疑問が…」「こんなやり方では決められない」という方も

「反対」を。一度こわしたら、元にはもどけません

